

世界第2位の温泉湧出量を誇る別府八湯。
その中で最も標高の高い場所に位置するのが
「明礬温泉」

わらぶき屋根の「湯の花小屋」が建ちならぶ。



- JR別府駅(西口)より
タクシーで約15分
亀の井バス(5番、41番、43番)で約30分
- 別府ICより
車で約5分
- 別府湾SAより
車で約5分
- 別府国際観光港より
車で約15分
- 大分空港より
車で約50分

明礬温泉協同組合事務局
〒870-0843
大分県別府市明礬5組
tel.0977-75-8132 fax.0977-75-8136

明礬通信.<http://www.myouban-onsen.com>
明礬温泉ポータルサイト.<http://www.myoban.jp>

別府

明礬温泉

BEPPU MYOBAN ONSEN

百年先へのまなざし

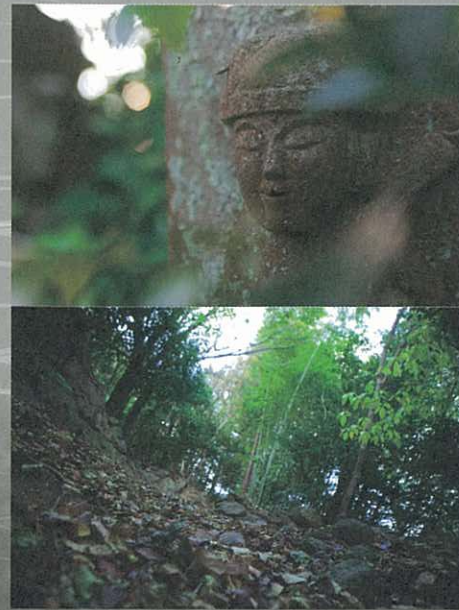
溪間

Kei Kan

標高400mから臨む
湯けむりのぼる
別府の町並みと
「別府湾」

大きなアーチ型
長大な橋梁の美しさを感じさせるデザインは
明礬温泉のシンボリック的存在
「別府明礬橋」

内山や鶴見岳の谷間に潜む明礬
雄大な景色が温泉情緒を誘う
「内山溪谷」



350年の
「歴史」
をもつ古くからの
湯治場別府明礬温泉

「鎌倉時代」
大友頼泰が湯坪を掘り
地藏菩薩を安置したことが
この温泉の始まりとの伝え

お地藏さまのおせったい
地域と温泉を守るお地藏さまに
感謝をお伝えする

「おせったい」
12カ所のお地藏さま巡り

由来

Yurai

岩漿

magma

わらぶき屋根の
「湯の花小屋」
が建ちならぶ

江戸時代
から続く独自の製法は
「国の重要無形民俗文化財」
(平成18年)に指定

マグマから分離した蒸気が
標高の高いところに出ていこうとする
働きから生まれる温泉他地域と異なる
この温泉生成のメカニズムは
泉質分化の末端
「神秘の湯」

